

2024年3月期

第1四半期決算説明会



2023年8月3日

ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

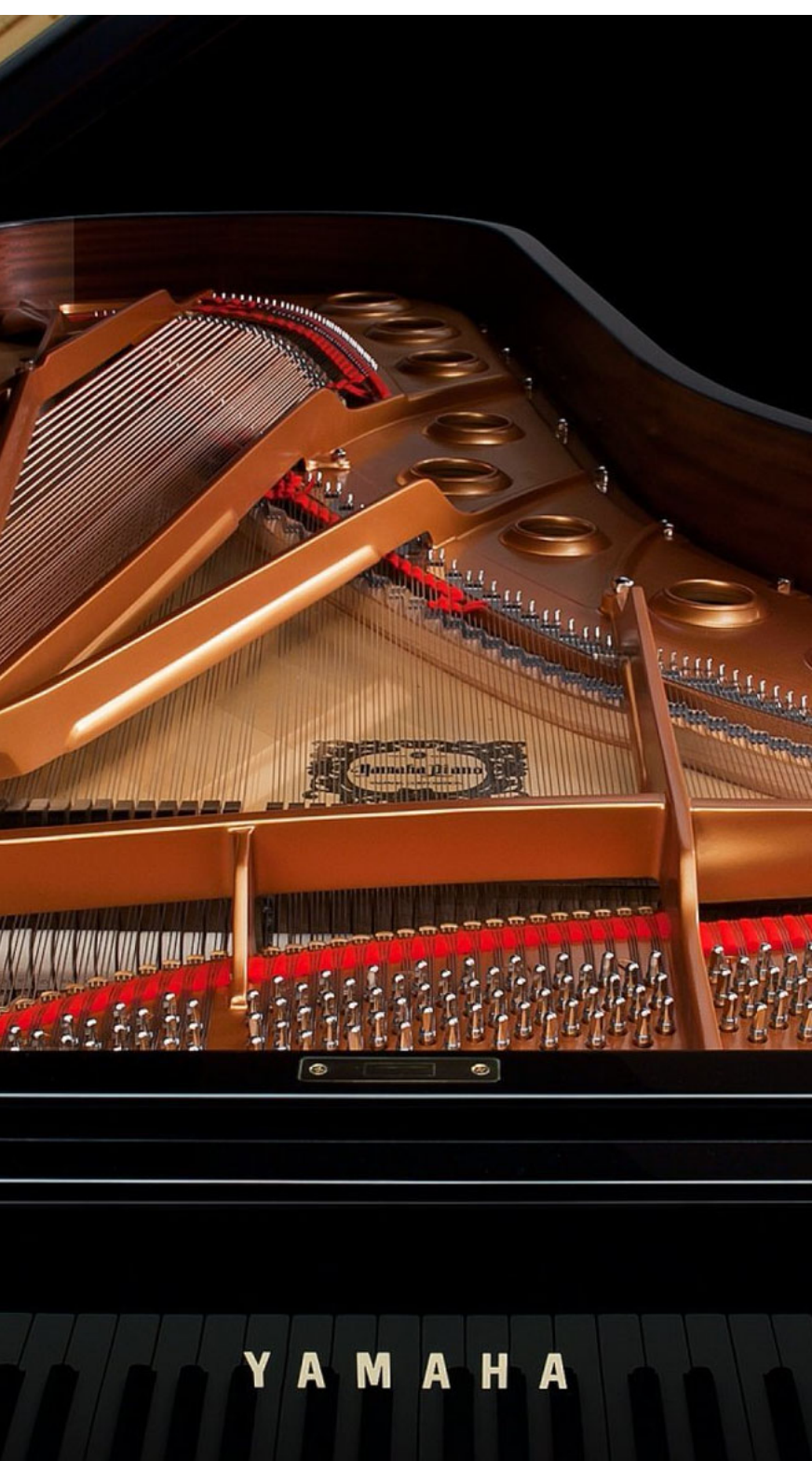
【24/3月期 1Q実績】

- ・ エントリーモデル需要減継続、中国市場回復鈍いが、為替影響もあり売上収益は増加
- ・ 事業利益は、エントリーモデルを中心としたデジタルピアノ（DP）販売減によるモデルミックス悪化、中国ピアノの生産調整等により減益

通期業績予想

【24/3月期 通期予想】

- ・ 市況悪化によるDP販売減等により、為替影響を除く売上収益を実質下方修正
- ・ 上記に加え、減産に伴う工場損益の悪化等により、事業利益を下方修正



1. 決算概要

業績概要

(億円)

	23/3	24/3	前期比	
売上収益	1,059	1,062	+3	+0.3% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	110 (10.4%)	67 (6.3%)	△43	△39.2%
当期利益 ^{*1}	86	67	△19	△21.8%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

^{*2} △3.3%
 (為替影響除く)

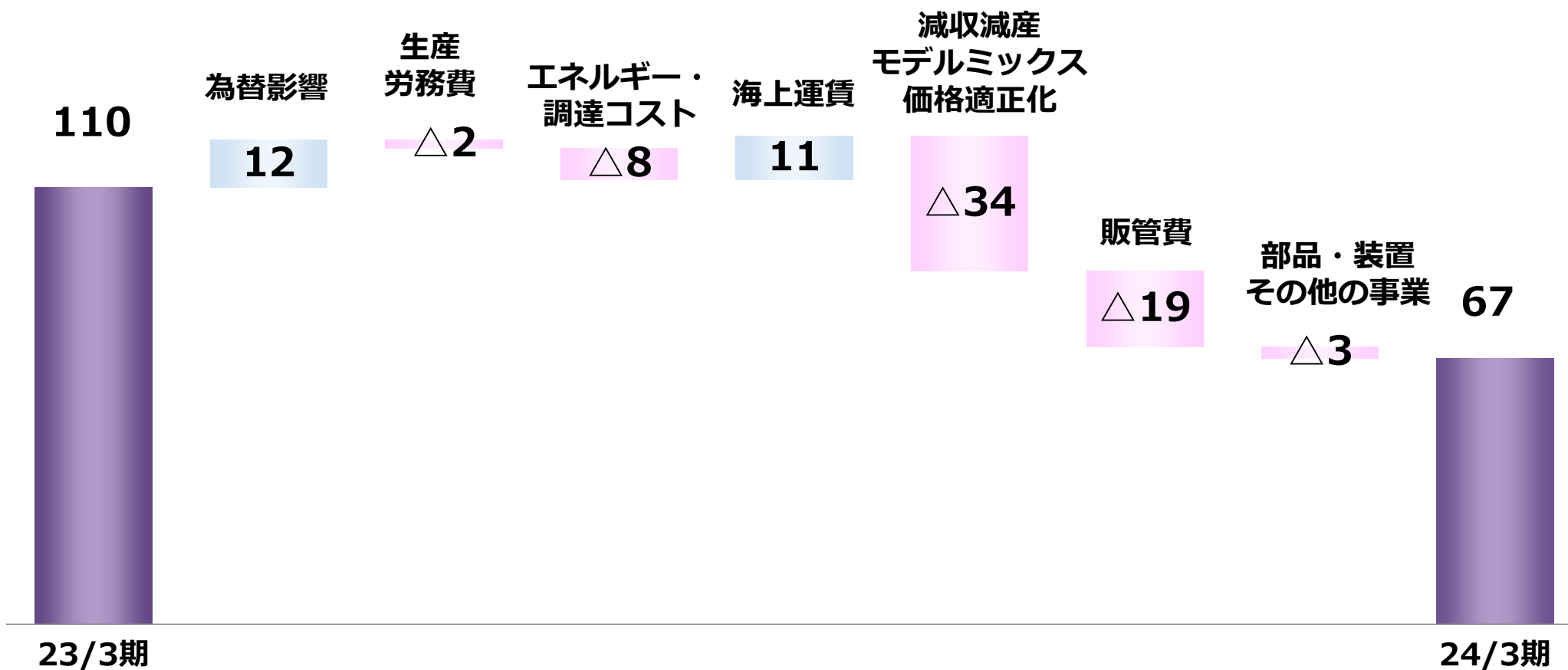
為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	130	137
	EUR	138	150
利益 (決済レート)	US\$	127	136
	EUR	130	140

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		23/3	24/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	734	722	△12	24
	事業利益	96	49	△47	8
	事業利益率	13.0%	6.7%	△6.3P	
音響機器事業	売上収益	228	241	14	10
	事業利益	△4	1	5	1
	事業利益率	△1.7%	0.4%	2.1P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	98	99	1	4
	事業利益	18	17	△1	2
	事業利益率	18.5%	17.3%	△1.2P	

業績予想

(億円)

	23/3	24/3	前期比	
売上収益	4,514	4,700	186	+4.1% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	459 (10.2%)	500 (10.6%)	41	+9.0%
当期利益 ^{*1}	382	385	3	+0.8%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 +3.7%
(為替影響除く)

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	135	136
	EUR	141	146
利益 (決済レート)	US\$	136	135
	EUR	136	144

1円変動による影響額

約11.6億円

約6.7億円

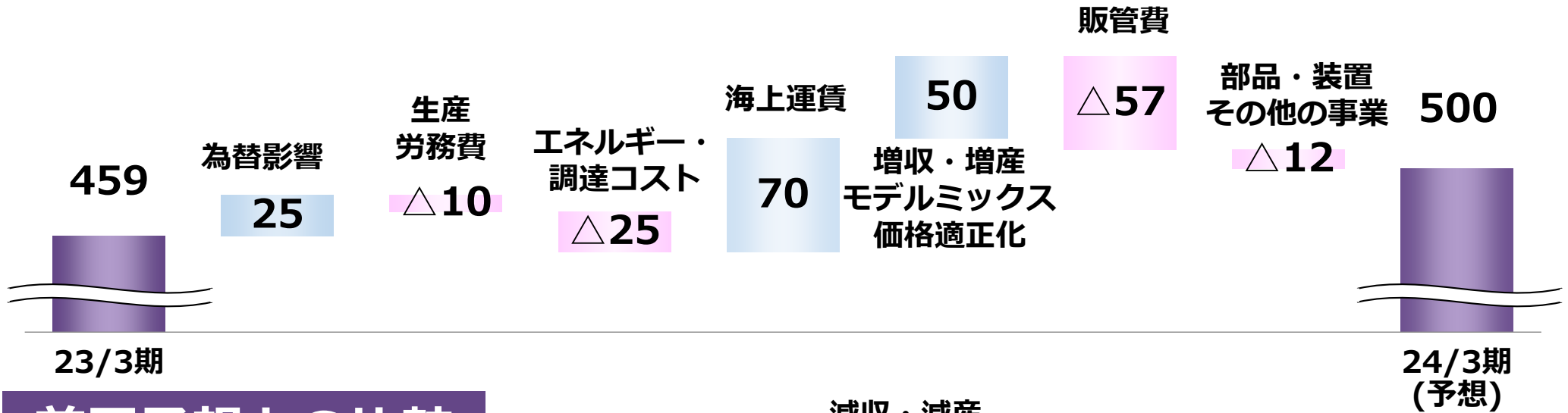
約1.1億円

約4.2億円

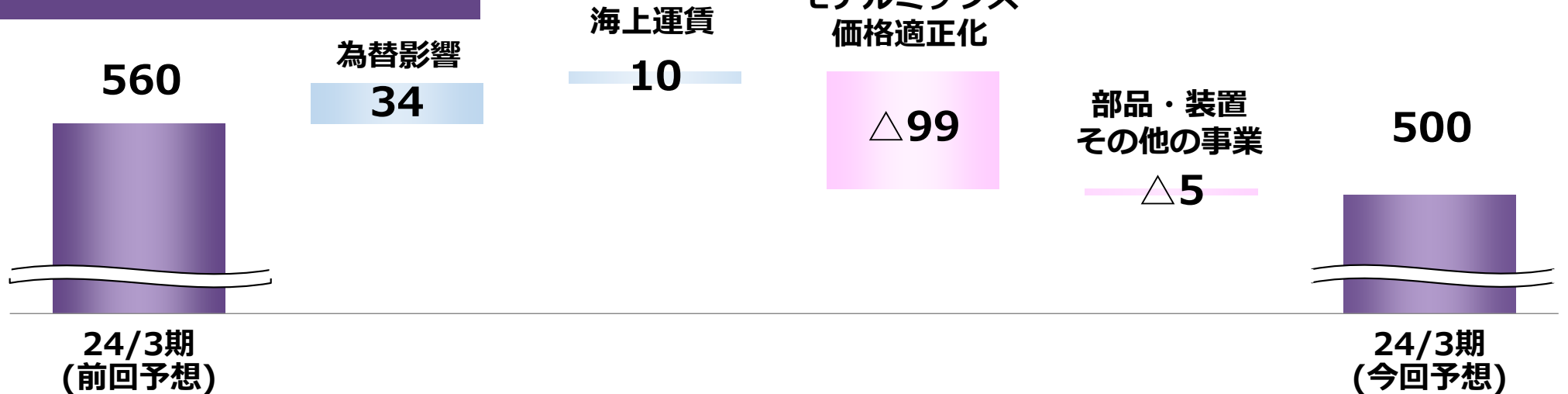
事業利益増減要因予想

前期との比較

(億円)



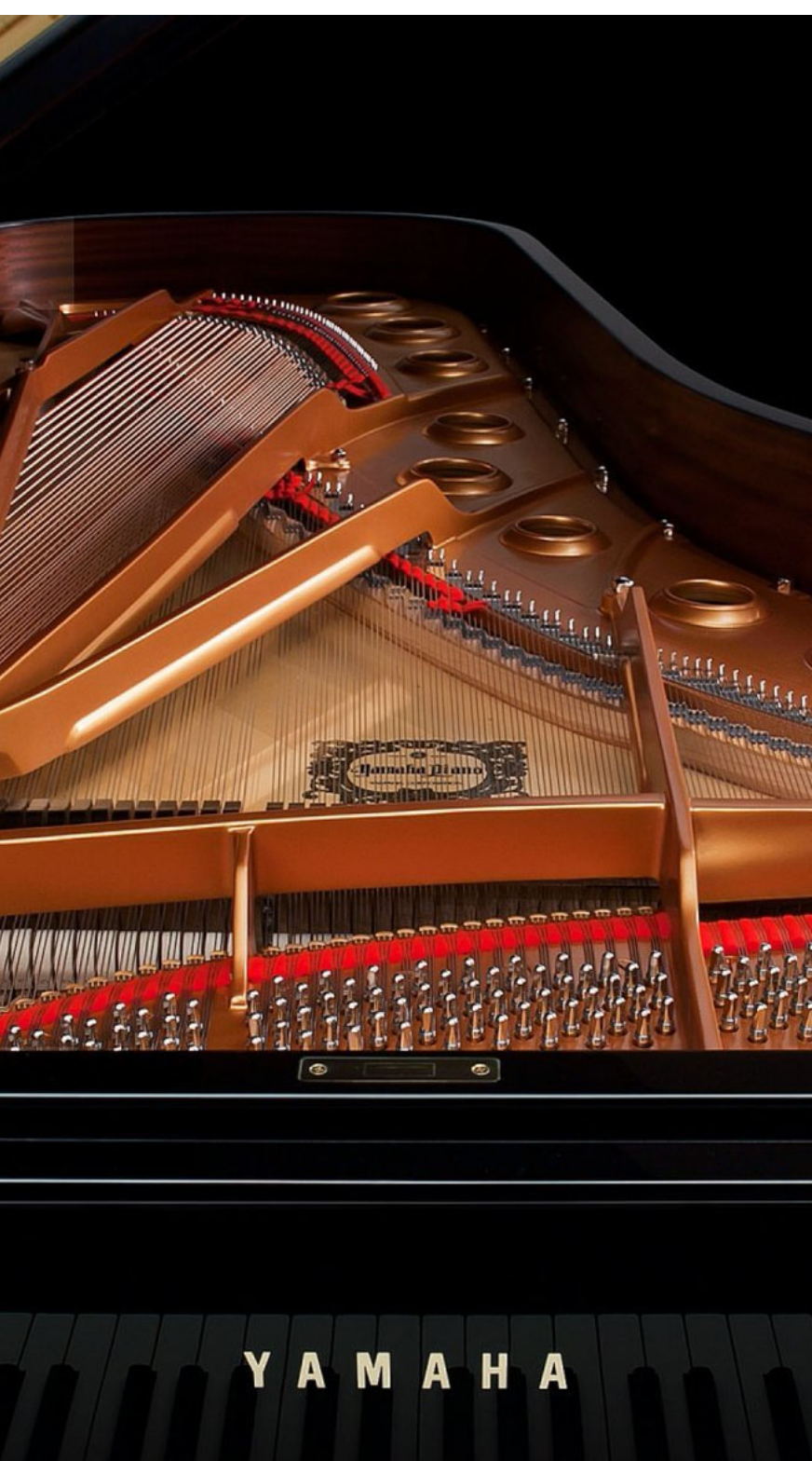
前回予想との比較



事業別業績予想

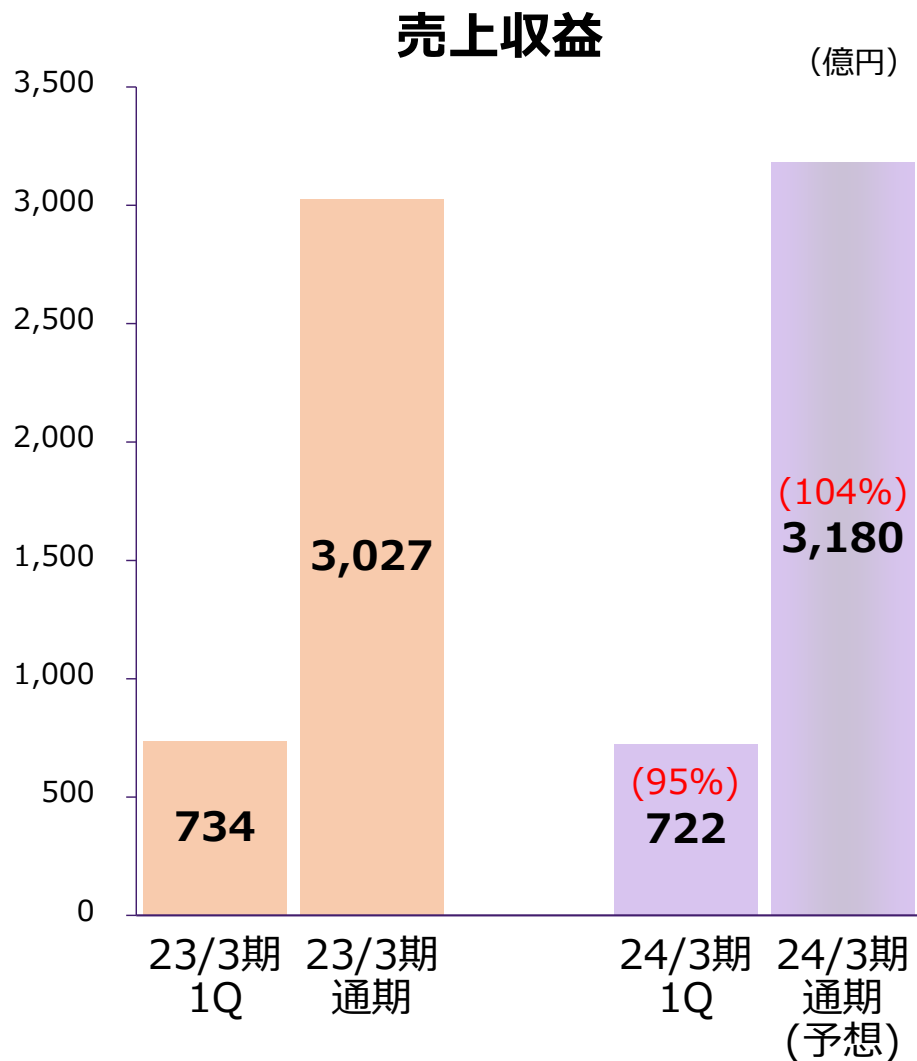
(億円)

		23/3	24/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,027	3,180	153	10
	事業利益	362	390	28	14
	事業利益率	12.0%	12.3%	+0.3P	
音響機器事業	売上収益	1,076	1,120	44	9
	事業利益	35	60	25	11
	事業利益率	3.2%	5.4%	+2.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	411	400	△11	△2
	事業利益	62	50	△12	0
	事業利益率	15.1%	12.5%	△2.6P	



2. 事業別概要

売上収益・事業利益



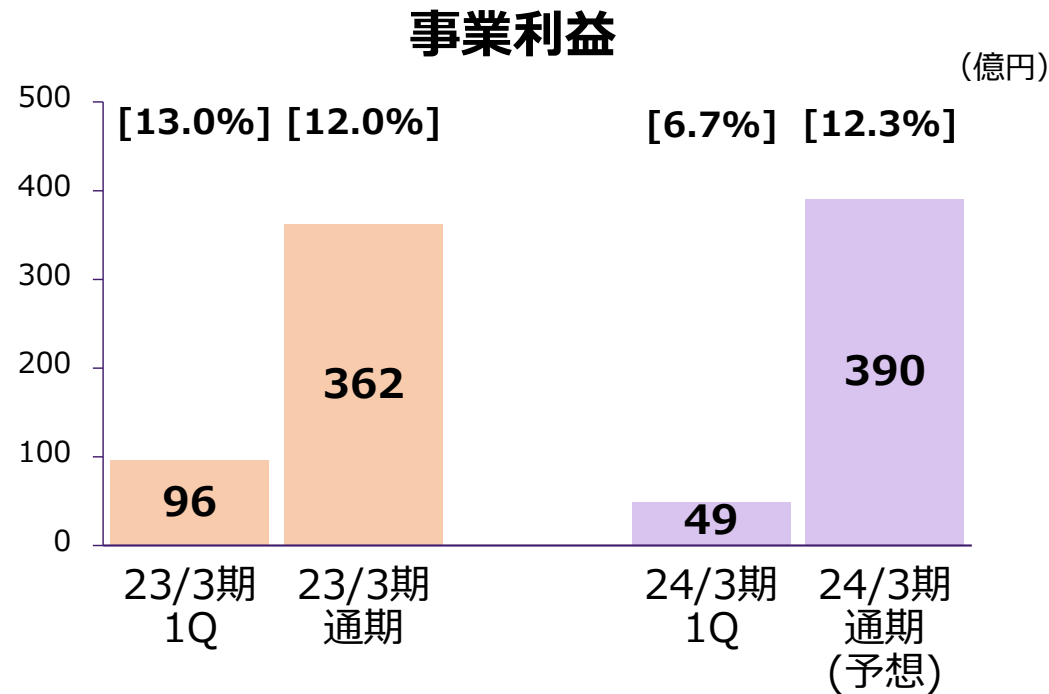
[1Q状況] DP販売減により減収

- ・ピアノは前年の中国ロックダウンに対し増収、電子楽器はエントリーモデル需要減継続でDP販売減で減収、管弦打は需要堅調も過去最高売上の前年1Qに及ばず、ギターはエレキギター好調継続にコルドバ社が加わり増収

[通期見込] 全地域で増収を予想

- ・ピアノは中国での回復が遅れているも前年に対しては増収、電子楽器はDPエントリーモデルの回復が遅れており前年並み、管弦打は吹奏楽需要堅調で増収、ギターはコルドバ社追加で増収を予想

(増減収はすべて実質ベース)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

主要商品 販売状況

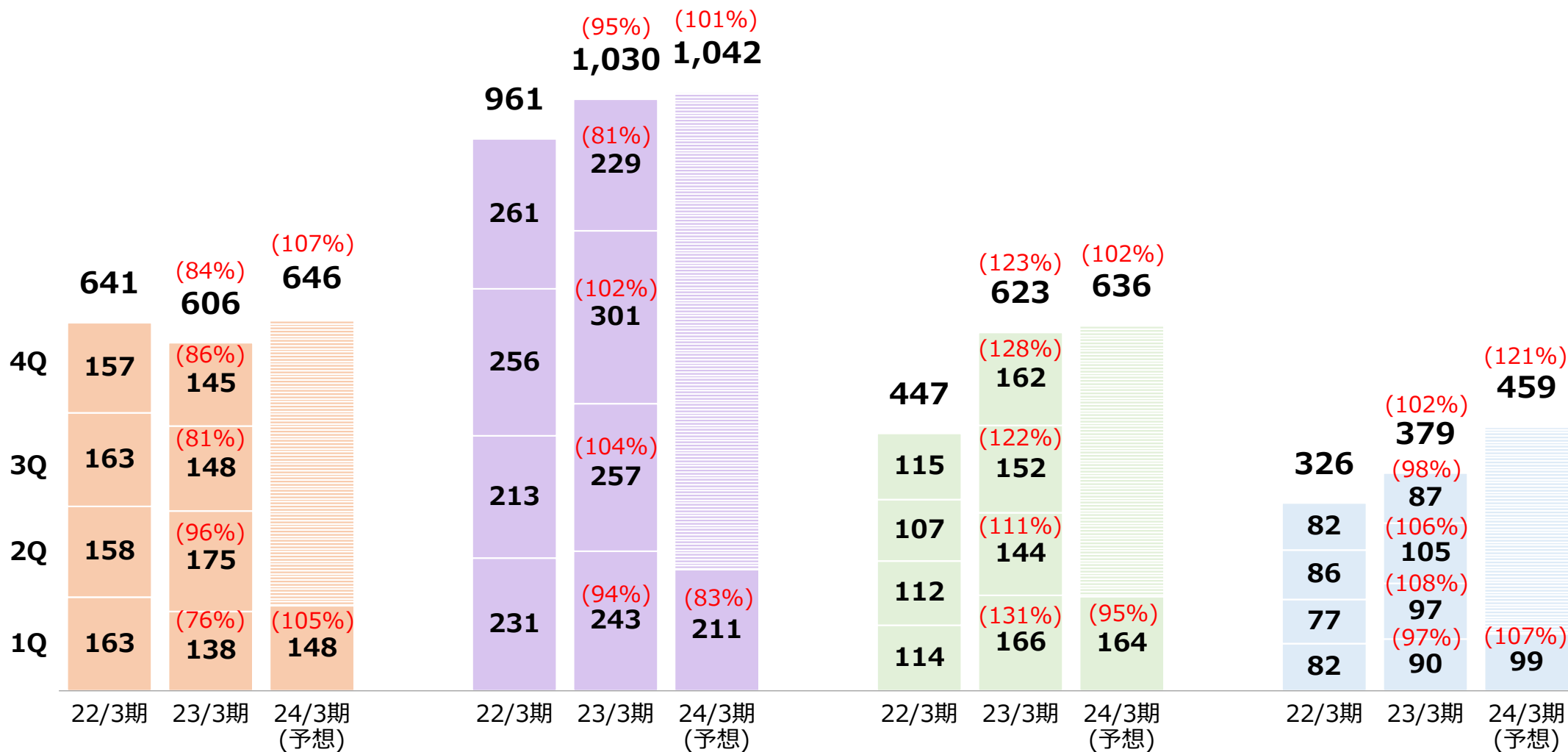
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

ギター

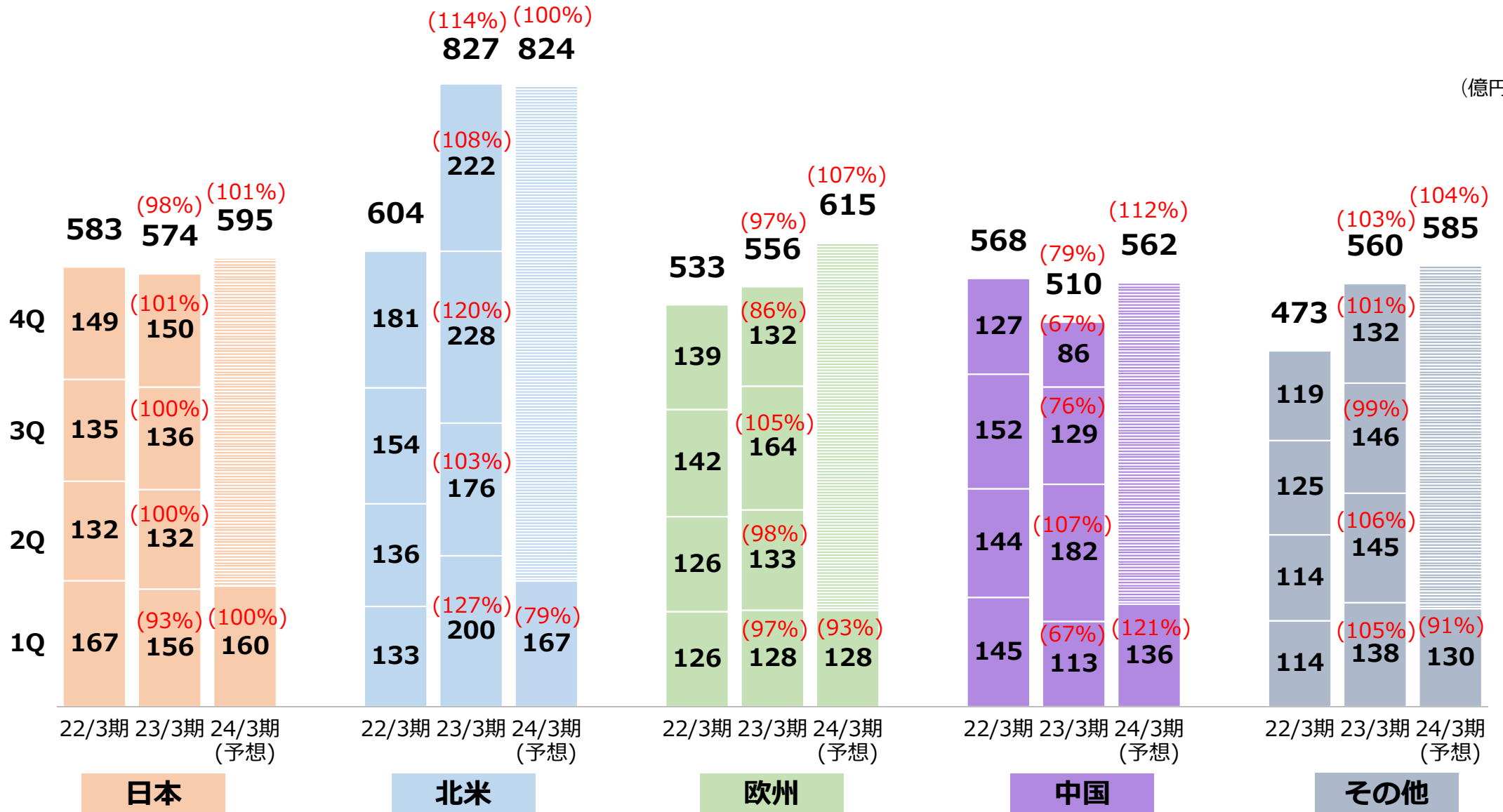
(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況

(億円)

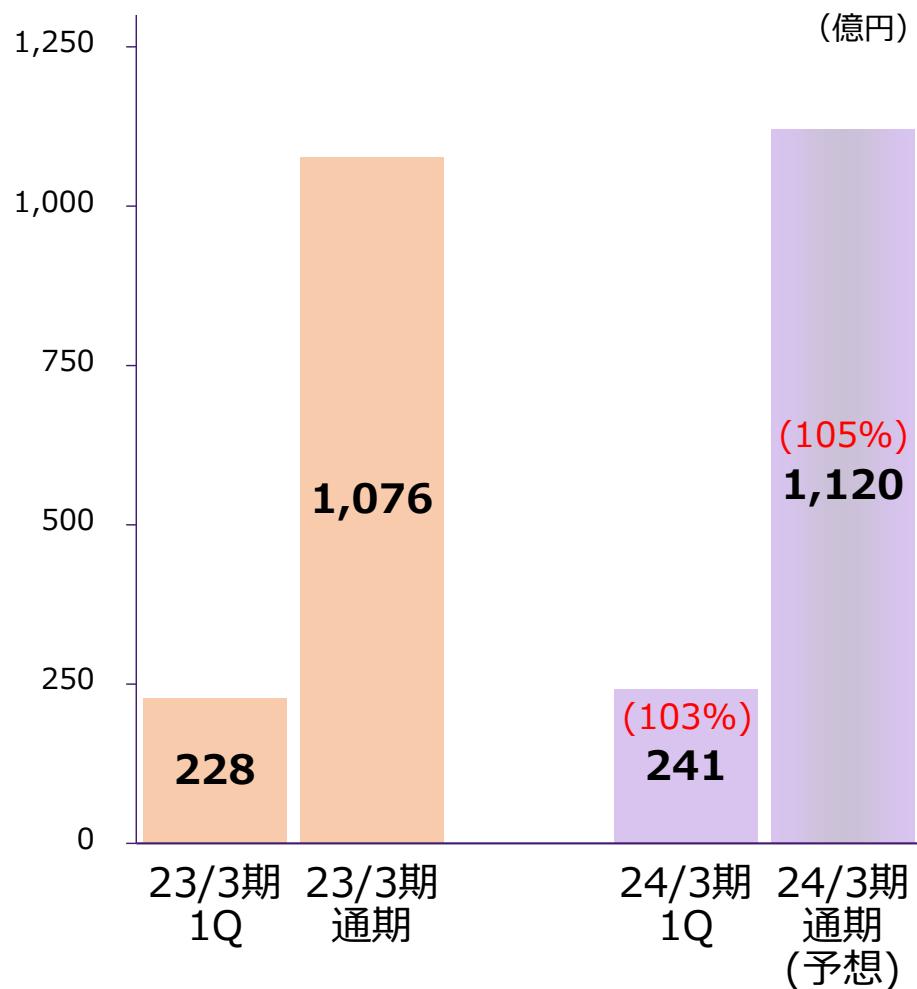


※ソフト、音楽教室等を含む

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[1Q状況] 法人向け需要旺盛で増収

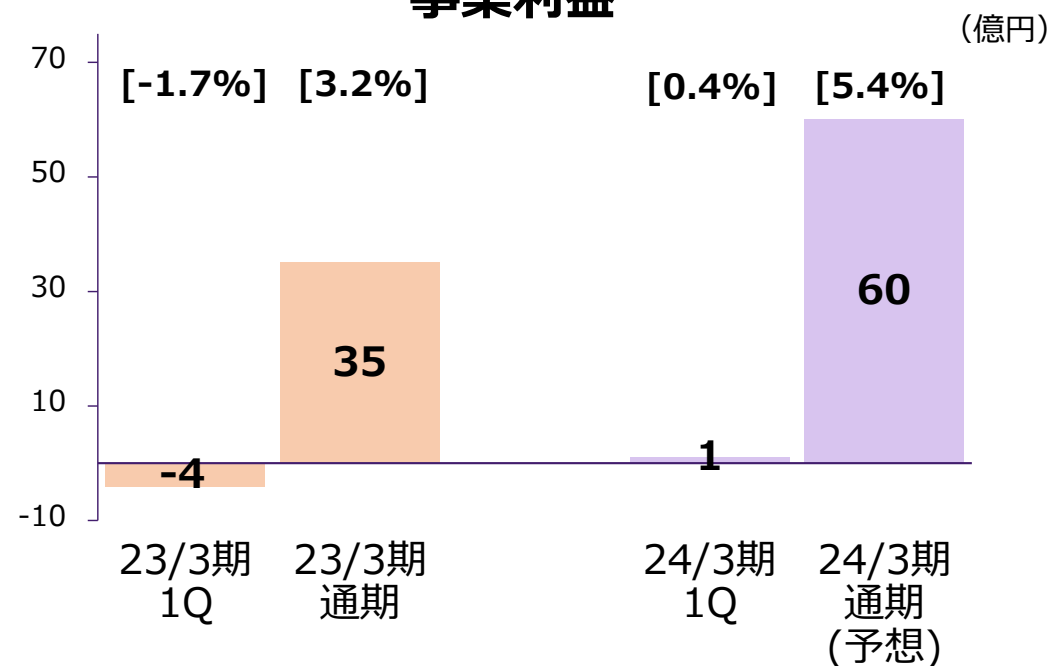
- ・個人向けは需要低迷を受けて減収
- ・法人向けはエンタメ、設備市場活況で増収

[通期見込] 供給問題解消し増収を予想

- ・個人向けは需要の回復が遅れているが、前年に対しては増収
- ・法人向けは堅調な需要およびPA新商品効果により増収を予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



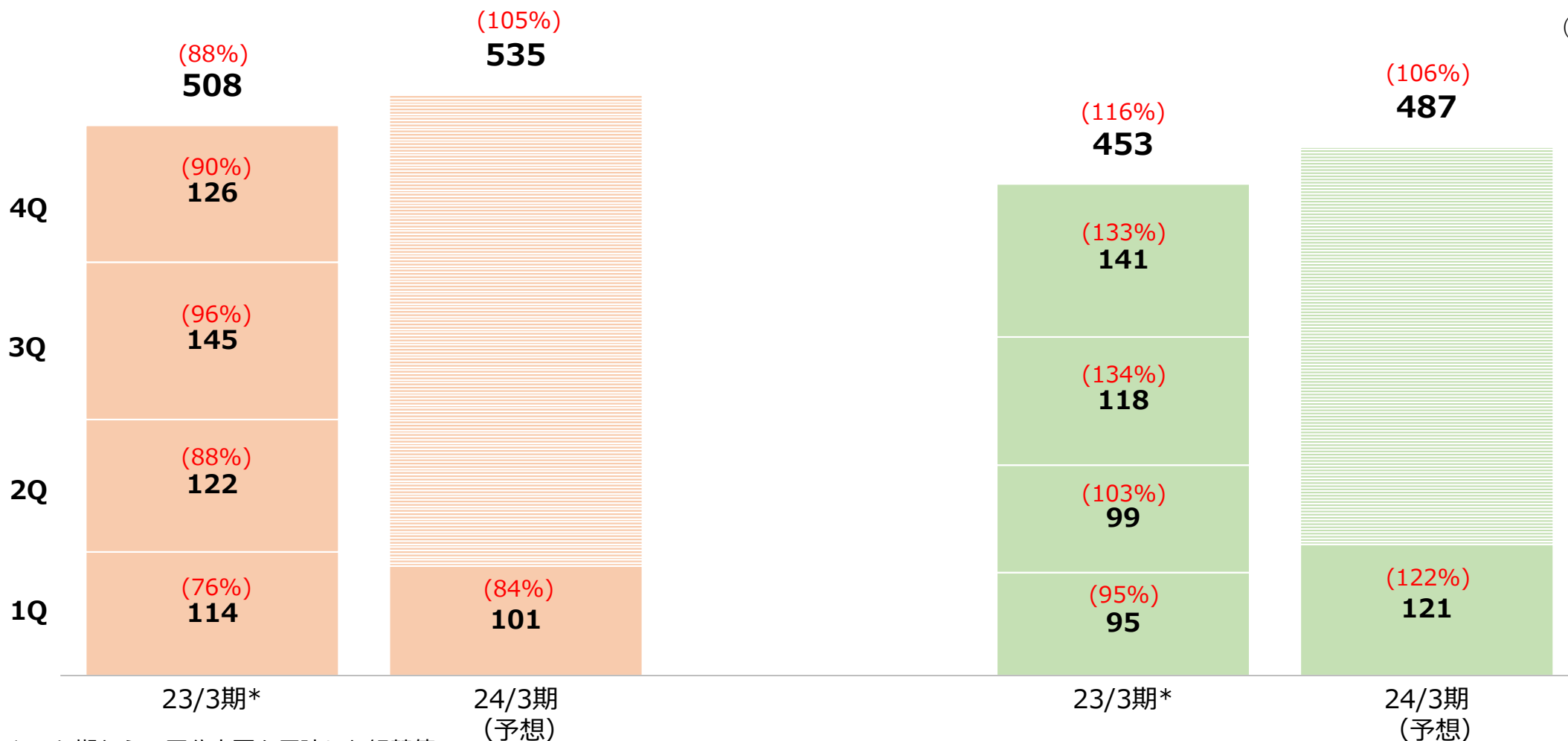
[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

個人向け

法人向け

(億円)

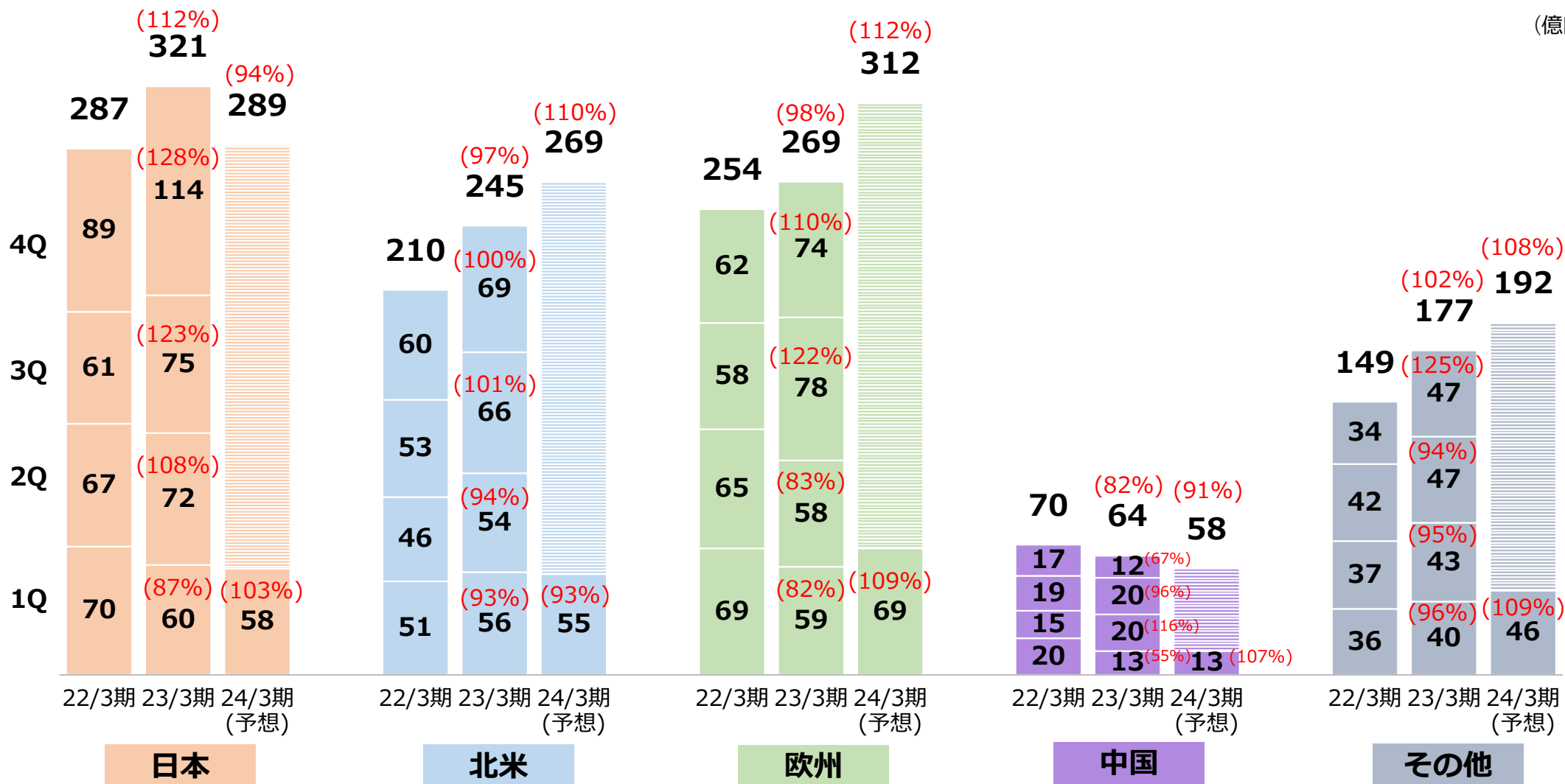


*24/3期からの区分変更を反映した組替値

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況

(億円)

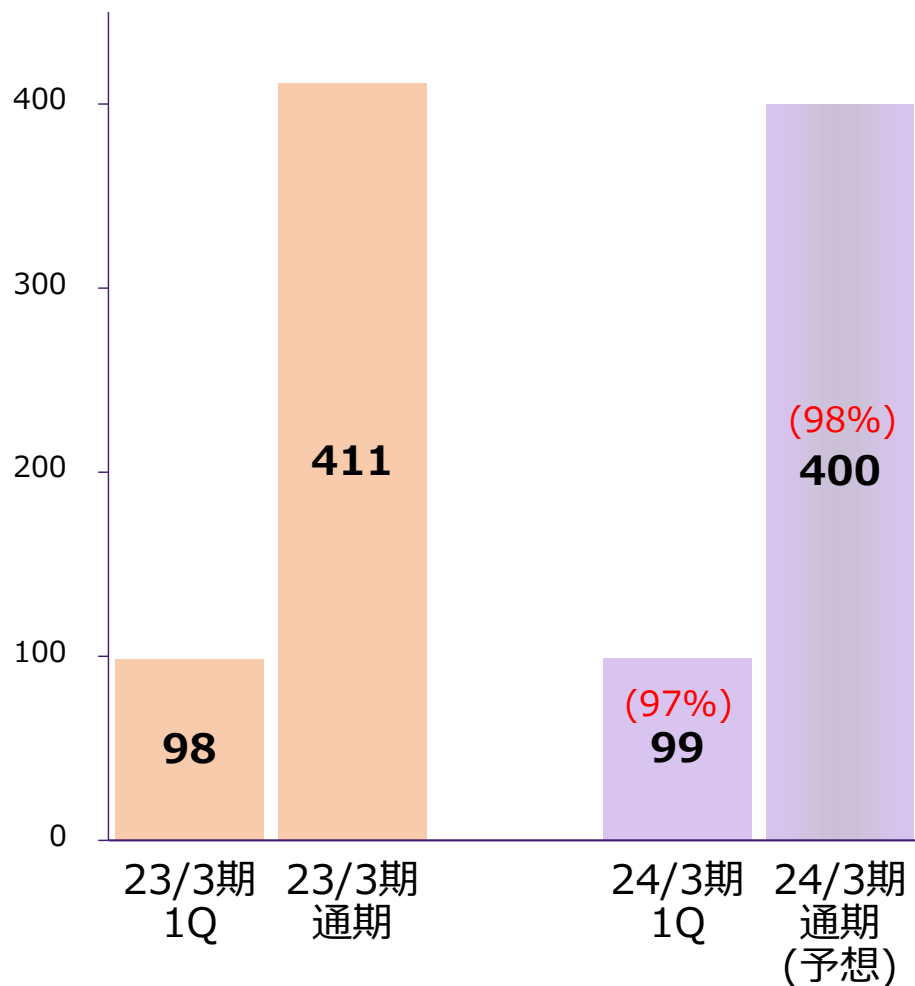


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[1Q状況]

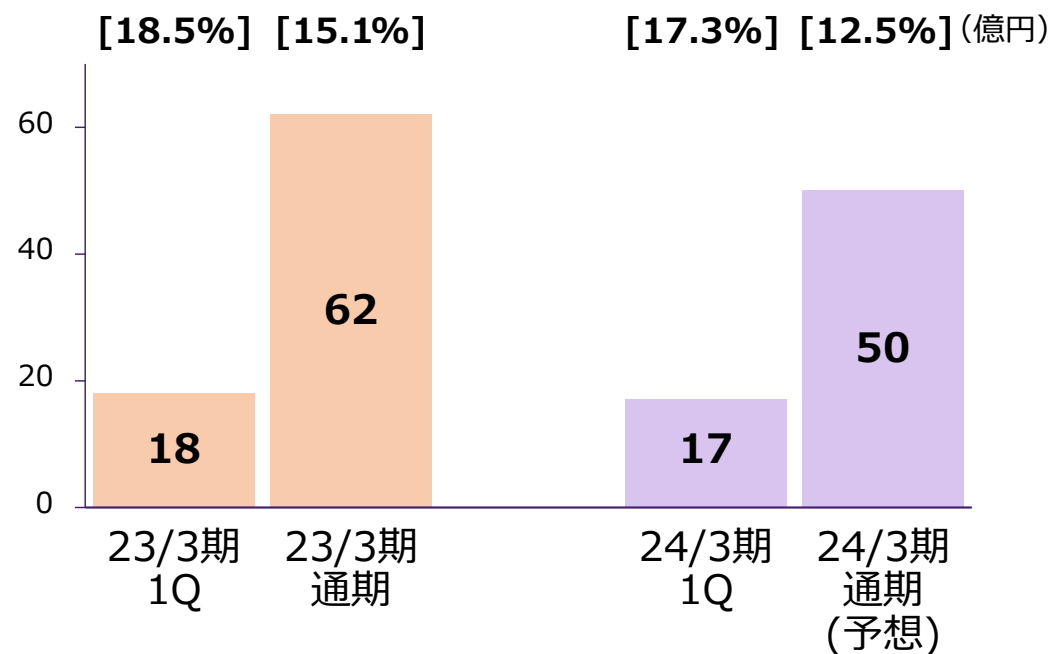
- ・車載オーディオ、自動車用内装部品は大幅増収
- ・FA機器、ゴルフ用品は大幅減収

[通期見込]

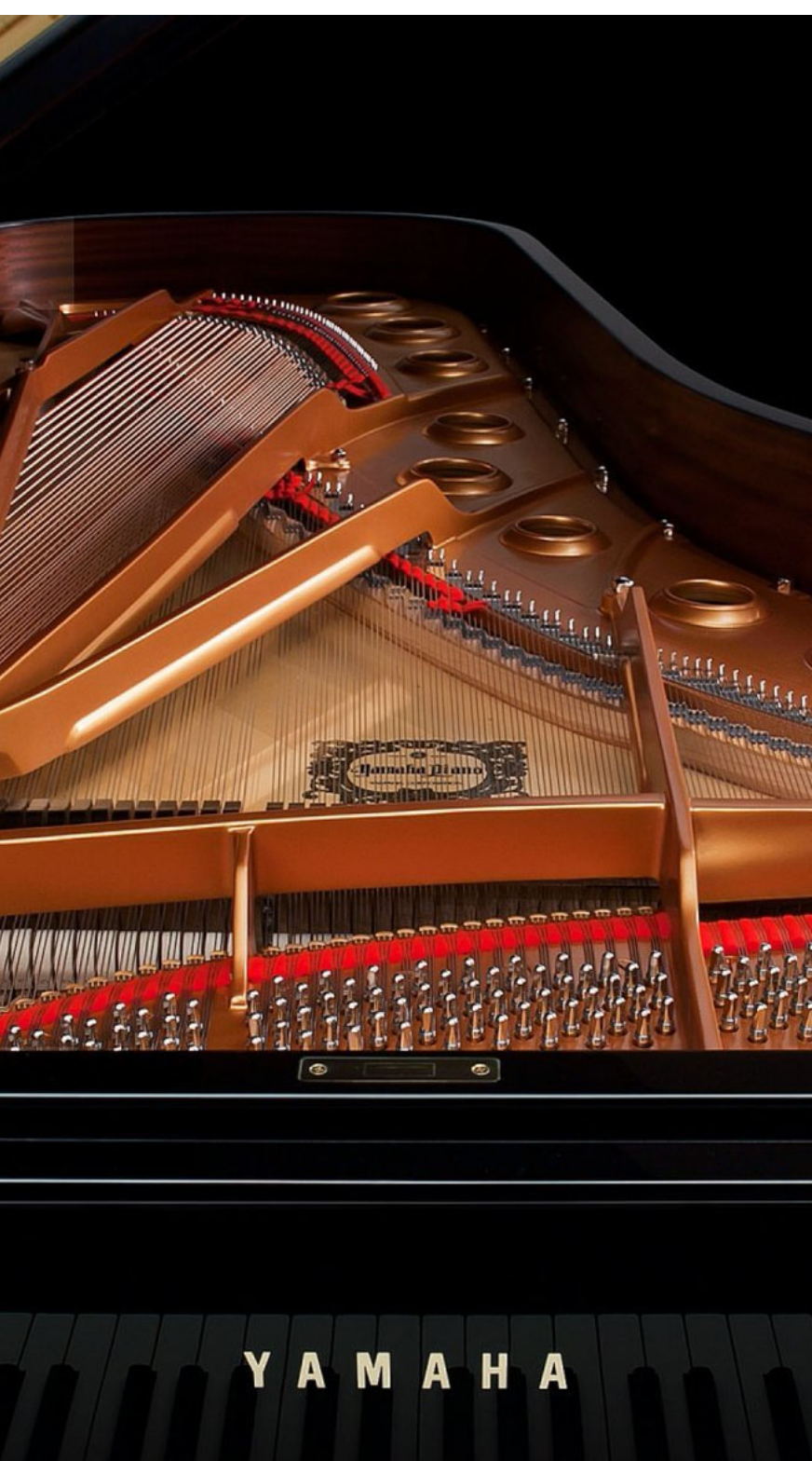
- ・車載オーディオのさらなる拡大で増収を予想
- ・ゴルフの特需がピークアウトし減収を予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



[]内は事業利益率



3. その他財務数値

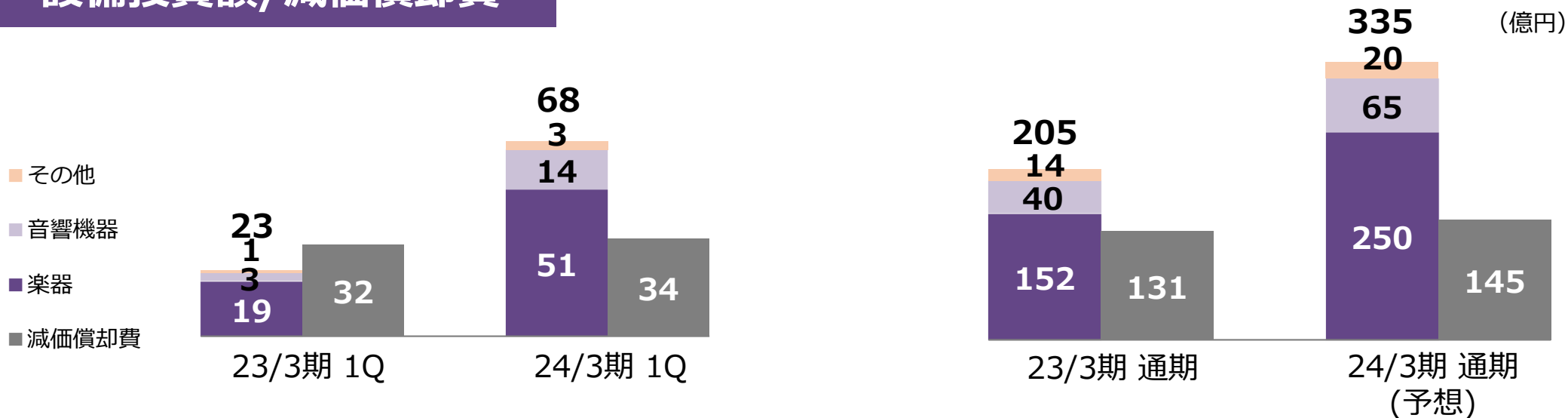
貸借対照表

(億円)

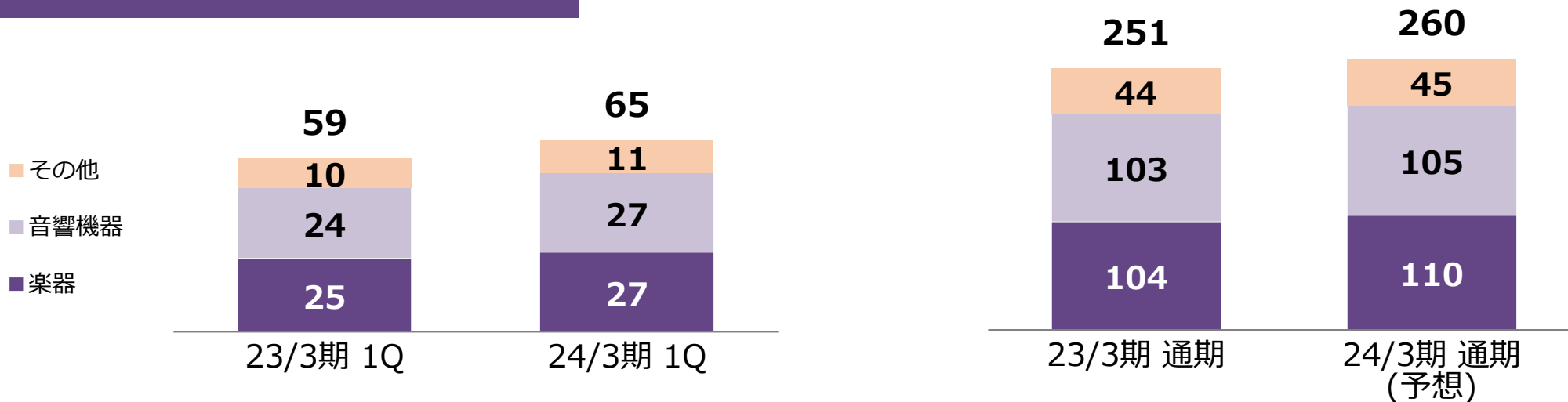
	23/3末	24/3 1Q末	増減	24/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,039	983	△56	1,305
営業債権他	754	724	△30	740
その他金融資産	11	14	3	15
棚卸資産	1,536	1,666	130	1,360
他流動資産	126	125	△1	80
非流動資産	2,477	2,735	258	2,860
資産計	5,942	6,247	304	6,360
流動負債	951	1,032	80	1,020
非流動負債	412	461	50	455
資本計	4,579	4,754	174	4,885
負債及び資本計	5,942	6,247	304	6,360

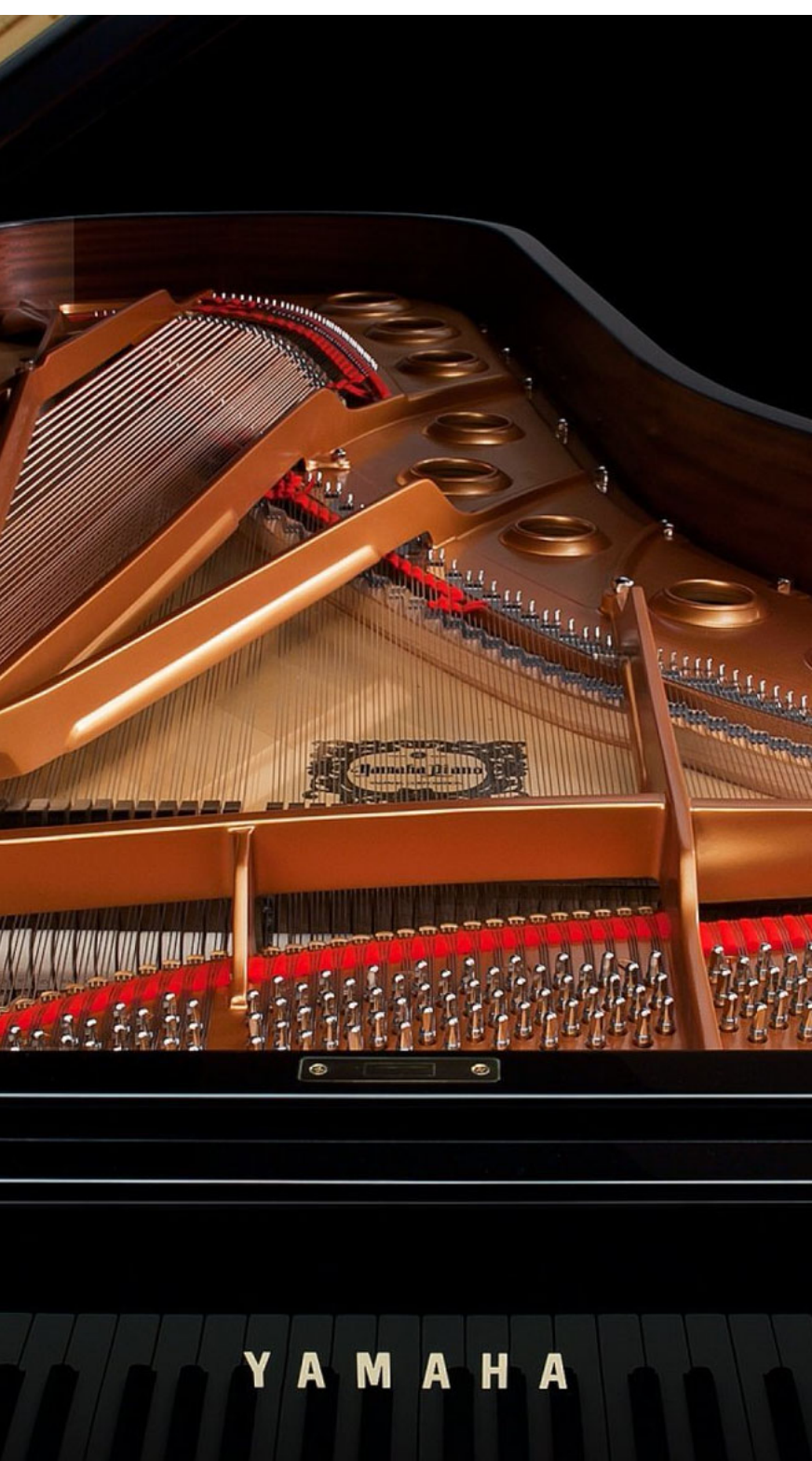
設備投資額・減価償却費 / 研究開発費

設備投資額/減価償却費



研究開発費





4. トピックス

中期経営計画 重点テーマ

事業基盤をより強くする

顧客ともっと繋がる

ハイブリッドな価値訴求と商品価値の強化

欧州で入門層をターゲットに無料オンラインレッスン同梱モデル拡大



<https://europe.yamaha.com/en/products/contents/remote-music-lesson/index.html>

持続的な成長力を高める戦略投資

フィリピン販売現地法人活動開始

メディアミックス/SNSを活用した商品価値の訴求

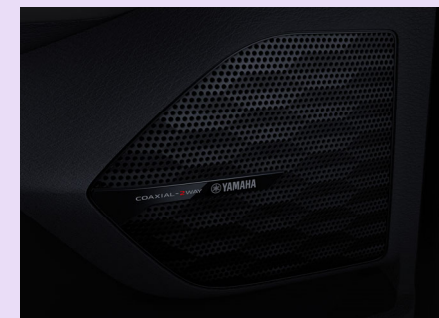


大ヒットアニメ『ぼっち・ざ・ろっく！』コラボによる効果がアジアに拡大

https://mp.weixin.qq.com/s/OFOd0_tT2bZyXa1dYfR1ng

事業ドメインの拡大

ヤマハブランド車載オーディオシステムを三菱自動車工業株式会社が採用



インドネシアで発売を予定する新型コンパクトSUVへ搭載

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23053102/

中期経営計画 重点テーマ

事業基盤をより強くする

新たな価値を創出する

個性際立つ新商品を投入

インド向けポータブルキーボード、
デジタルミキサー販売好調

ポータブルキーボード



PSR-I300

デジタルミキサー



DM3

ヤマハならではの顧客体験を創造

リモート合奏サービスSYNCROOMを
新たに韓国でサービス開始



音で繋がるオンライン演奏空間 SYNCROOM

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23061901/

サステナビリティを価値の源泉に

【文化】
音楽文化の普及・発展
により市場を拡大する

新興国の器楽教育普及の 取り組み拡大



インドの公立初等学校でリコーダーを
使った日本の音楽教育を開始



パイロット校8校で展開中

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23051201/

ガバナンス

取締役会における多様性の確保 (専門性・経験、ジェンダー、国籍)

取締役が有している専門性

取締役		企業経営	法務・リスク マネジメント	財務・ 会計	IT・ デジタル	製造・技術 研究開発	マーケティング・ 営業	グローバル
中田 卓也	-	●			●	●	●	●
山畑 聡	-		●	●				●
日高 祥博	社外	●		●				●
藤塚 主夫	社外	●	●	●				●
ポール・キャンランド	社外	●					●	●
篠原 弘道	社外	●			●	●		●
吉澤 尚子	社外	●			●	●		●
江幡 奈歩 (新任)	社外		●					●



取締役
中田 卓也



取締役
山畑 聡



◆ 委員長



独立社外取締役
日高 祥博
(ヤマハ発動機株式会社
代表取締役社長)



独立社外取締役
藤塚 主夫
(日本精工株式会社 社外取締役)

◆ 委員長 ◆



独立社外取締役
Paul Candland
(PMCパートナーズ株式会社
マネージングディレクター)

◆ 委員長 ◆



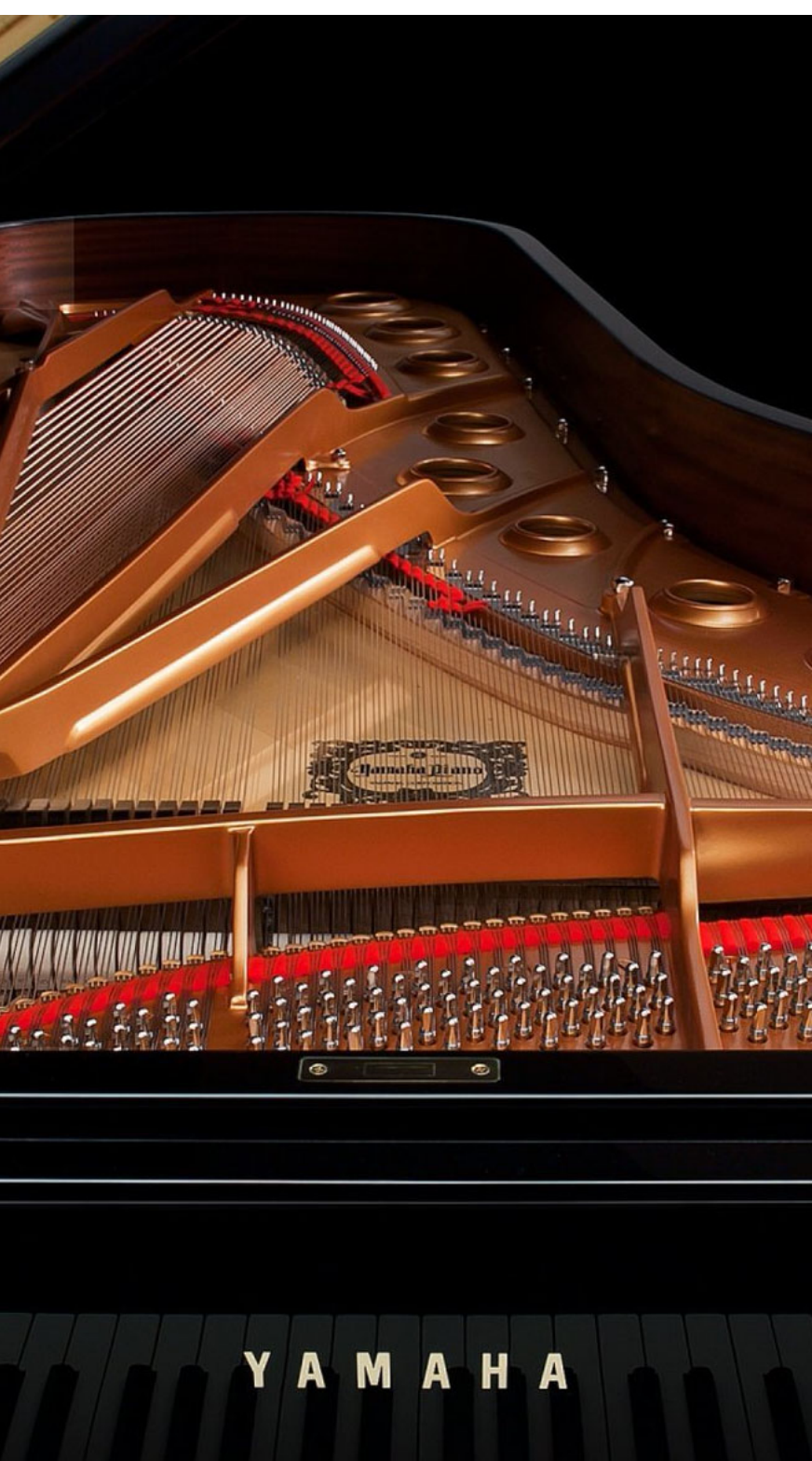
独立社外取締役
篠原 弘道
(株式会社みずほフィナンシャルグループ
社外取締役)



独立社外取締役
吉澤 尚子
(株式会社ナレッジピース 取締役)



新任 独立社外取締役
江幡 奈歩
(阿部・井窪・片山法律事務所
パートナー)



付属資料

1Q その他収支等

(億円)

		23/3	24/3
事業利益		110	67
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	△0	0
	その他	1	2
	計	1	2
営業利益		111	69
金融収支計	受取配当金	3	4
	その他	12	28
	計	15	32
税 前 利 益		126	100
法人所得税費用		40	33
非支配株主利益		0	0
当 期 利 益*		86	67

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

(億円)

		23/3	24/3 (予想)
事業利益		459	500
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	△0	0
	その他	6	△0
	計	6	△0
営業利益		465	500
金融収支計	受取配当金	26	27
	その他	15	3
	計	41	30
税 前 利 益		506	530
法人所得税費用		124	146
非支配株主利益		△0	△1
当 期 利 益*		382	385

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。